



▲巡礼ウォーキングの様子

12月8日(日)、樽見鉄道谷汲口駅をスタートし谷汲山華厳寺をゴールとする巡礼ウォーキングが開催されました。このイベントは、西国三十三所「谷汲山華厳寺」日本遺産活用推進協議会が、西国三十三所観音巡礼の日本遺産認定を記念して、西国巡礼の文化体験と認知度の向上を目的に開催されました。晴天の中、巡礼衣装を着用した参加者約200人が本堂に無事に到着し、お参りを済ませました。

トウクトウクの乗車体験やいのりちゃんの参加もあり、会場周辺は多くの方で賑わっていました。

また同日、華厳寺の英霊堂において水上勉著作「たそ彼の妖怪たち」に収録の「美濃のおいずる」の聞き語りも開催され、当時の巡礼の様子に約50人の方が聞き入っていました。

晩秋の谷汲山華厳寺巡礼ウォーキングが開催されました



▲テーマを協議する中学生教育委員

1月7日(火)、揖斐川町役場で、中学生教育委員会を開催しました。これは、よりよい学校生活を築くためにどうするべきかを話し合うもので、町内4中学校の1・2年生の代表16人が参加しました。

前半は、教育委員会や教育委員への質問や意見交換を行い、それぞれの組織やその働きについて、また、各学校で必要に思っていることなどについて、積極的な意見交換が行われました。

後半は、次年度に4校で重点的に取り組むテーマを協議し、新年度も引き続き、「いつでも どこでも だれにでも」をスローガンとして、「全員が気持ちのよいあいさつをしよう」、「全員が思いやりのある言動をしよう」の2つに更に磨きをかけ、取り組むこととし、「生徒会サミット宣言」として掲げることを決めました。

中学生教育委員会を開催しました
学校生活の向上を目指して



▲受賞報告した河瀬柚輝さん(中央)と植山いろはさん(右)

第69回「社会を明るくする運動」岐阜県推進委員会が主催する作文コンテストに入賞した小学生が、富田町長に受賞報告を行いました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。作文コンテストには、小学生の部に岐阜県内から1667点の応募がありました。そのうち7点が入選作文となり、揖斐川町内の小学校から、FC岐阜賞に谷汲小学校6年生の植山いろはさん、岐阜保護観察所長賞に北方小学校6年生の河瀬柚輝さんの作文が選ばれました。

富田町長は、「いじめや非行のない明るい学校を作っていくリーダーとして、これからも頑張ってください」と挨拶しました。

受賞、おめでとうございます。

第69回「社会を明るくする運動」作文コンテストに入賞しました



▲受賞報告した北方小学校みどりの少年団の細野礼徒さん(中央)と河瀬明莉さん(右)

1月9日(木)、揖斐川町役場公室で、北方小学校みどりの少年団が、「全国緑の少年団活動発表大会」において、みどりの奨励賞を受賞したことを、富田町長に報告しました。

この賞は、全国の緑化活動に取り組む少年団のうち、優れた活動をして発表した団体に贈られるもので、北方小学校は、4年生が総合学習として実施している徳山ダムでの植樹活動や学校周辺の緑化活動などが評価され、今回の受賞となりました。

児童代表の細野礼徒さんと河瀬明莉さんが「緑を大切にしてほしい」との思いを込めて発表しました」と大会の様子を話し、富田町長は、「山を守るのは町の責任と誇り。しっかりと伝えてくれると思います」と挨拶しました。

受賞、おめでとうございます。

みどりの奨励賞を受賞しました

第22回中学生海外派遣事業を実施しました

1月16日(木)から24日(金)までの9日間、交流都市であるアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市で、町内の中学生代表19人による派遣事業を実施しました。

研修では、地元の3中学校(ミドルスクール)で授業への参加や、揖斐川町の紹介、朝食づくりやゲーム等の活動を通して、交流を深めました。

また、宿泊や週末の活動は現地のホストファミリーにお世話になり、心温まるおもてなしを受け、全員が安心して過ごしました。研修中、行く先々でお礼を伝えると「揖斐川町の皆さんが、私たちに親切にしてくれたからです」と言われ、これまでの交流の深さを実感することができました。

帰国した生徒たちは「研修で学んだことを今後の生活に生かしたい」と話していました。



▲パインビューミドルスクールを訪問した派遣団

揖斐高校「学習成果発表会」が開催されました。多彩なステージで会場を魅了！

1月18日(土)、地域交流センターはなもでも、揖斐高等学校の学習成果発表会が開催されました。

今年のテーマを「満開1000年に咲いた花」とし、卒業を控えた3年生の生徒が、学科やコースごとに取組や作品を発表しました。

ステージでは、地元企業等と連携・協力を得て行っている「揖斐高シヨップ」や「デュアル実習」(企業実習)の紹介、着物の着付けや創作衣装のショーがあり、会場を魅了していました。

作品の展示などもあり多くの来場者の目を惹きつけていました。

また、連携型中高一貫教育の取り組みの一つとして、町内の中学2年生は前日のリハーサルを、3年生には当日の発表を参観し、自身の進路を見つめる機会にしました。



▲和装コースの着つけショー

谷汲山華厳寺節分厄払い行事が開催されました

2月3日(月)、谷汲山華厳寺で、揖斐川町観光協会主催の節分厄払い行事が開催されました。

毎年恒例となっているこの行事には、約5000人の参拝者が訪れ、豆まきなどに参加しました。

華厳寺本堂で御祈祷が行われた後、本堂前と高さ4メートルの赤鬼が設置された仁王門前の2か所で豆まきが行われ、「福は内！」の掛け声とともに、家内安全、無病息災などを願い、福豆が勢いよくまかれると、多くの参拝者は、その豆をつかみ取ろうと懸命に手を伸ばしていました。

また、境内では甘酒の無料サービスも行われ、甘酒で一息をつく参拝者の姿が多く見られました。



▲参拝者に福豆がまかれました

友好都市 芽室町 だより

充実した人事交流ができました！

1年間の派遣期間を振り返ると、あっという間の1年でした。

北海道での生活はもちろん、牛の放牧のお手伝いや北海道ならではの大規模農業など、揖斐川町との違いを感じました。

また、児童交流の際の児童受け入れや、いびがわマラソンでの物産販売などを行っている、芽室岐阜県人会の方々の思いなども知ることができ、芽室に來なければ分からない事、経験できないことが多くありました。

仕事では、芽室町への派遣が再開した1人目として恥ずかしくないように、少しでも力になれるようにという思いをもって働いてきました。

芽室町職員、そして揖斐川町職員としても見られているという意識が、責任感をより一層強くしたと思います。芽室町で得たものを活かしながら、揖斐川町でもこれまで以上に町職員として恥ずかしくないよう働いていきたいです。

最後になりますが、芽室町では北海道らしい自然や景色を見ることが出来ます。

興味のある方は、ぜひ一度訪れてみてください。

芽室町農林課

(揖斐川町派遣職員)

亀井 康平

